

校長室だより

No. 4

平成 27 年 5 月 1 日(金)

強く やさしく

六ツ美中部小学校校長

かとうよしかず  
加藤嘉一

### トイレと下駄箱を大切にする

先日教室をぐるっとまわっていたら、学校探検前だったのか、2年生のあるクラスの授業で「校長先生はどんなお仕事をしているのだろうか。」と担任の先生と子供たちで話が盛り上がっていました。そのときは、ちょうど教室に入ったところだったので、私と子供たちとのミニ授業をすることになりました。4月の出張等がない日の私の生活は、たいてい右のようなことをしていました。

この中でも、特に**校舎内(外)の見回り**は、大切にしています。「子供の様子はどうか?」「お休みしている子はいるのかな?」「〇〇さんは、何の授業が好きなのかな?」など、できるだけ子供はどんな様子か見て回りたいと思っています。もう一つ見回りの目的で大切にしているのは、「**トイレと下駄箱**」です。学校の様子は、たいていこの二つを見れば分かると言われます。

トイレは、清掃区域としてもあまり人気のないところです。たぶんその理由は分かると思いますが、トイレをきれいなまま上手に使うということは、

下の二つが必要です。よく回っていくと、小さい学年だとトイレのレバーなど家と勝手が違うのか、水が流しきれていなくて便が残っていたり、これはどの学年もたまにあるのですが、トイレットペーパーを使い切ってそのままになっていたことがあります。もちろん、家庭でも教育してくださっていることだと思いますが、公共の場と自分達の生活の拠点との両面の性格がある学校の

- 自分以外の人への気遣いがあること
- トイレを使う技術があること

8:15 まで	(校舎内(外)等の見回り) ○前日提出された文書の整理 ○登校時のあいさつ・交通安全見守り活動 ○役職の先生との打合せ
8:15 から	○職員との打合せ ○授業・行事等の対応 <b>○校舎内(外)の見回り</b> ○文書の確認、決裁 ○電子メールの確認・返信 ○企画・提出文書やおたより等の作成 ○対外的な機関との対応・連絡・調整 ○保護者・来客の対応 ○下校時の交通安全見守り活動 など

のトイレをどのように考えるかで、学校生活の考え方に影響してきます。



- かかとをふまずにくつがはけている
- かかとを下駄箱のへりにそろえている

同じことが、下駄箱の靴の状況を見ても分かります。もちろん下駄箱を見れば、全校児童の登校状況はすぐ分かることと、靴のそろえ方で子供たちの心の状況が分かるとよく言われます。とても当たり前で簡単なことのように思いますが、我が家の玄関も毎日となると恥ずかしい状況がよくあります。

上のことができていないと、「この子は、今気分が高ぶっているのかな」「今日はちょっと心が落ち着いていないかな」と気になります。これは、自分が初任の中学校で、生徒指導が大変だった時代に、トイレから学校が崩れていったこと(びっくりしたことは、そのとき心が荒れていた生徒は、トイレで平気で給食を食べていました)を知り、休み時間は10年間できる限り毎日トイレの前に立って生徒と対応していたことがベースにあります。小学校でもトイレから心配なことが始まることは、経験上基本的に変わらないと確信しています。

こんなことを心配しながら見回りをしていますが、六ツ美中部小学校の今の状況は、とても素晴らしいです。先日の朝会でも、「小さい学年でもトイレがきれいで、スリッパもよく整頓され、ロールも次の人のために付け替えられていることが多くてびっくりした。」「下駄箱の靴のそろえ方が素晴らしい。今日の一番は4年生だった。」とお話をしたくらいです。

そして、4月の入学式を終えた2、3日後から、数日始業前の早い時間に学校の様子を見て回っていたら、大山教頭先生が校舎の鍵を開けながらトイレトペーパーを4、5個持って歩いていらっしゃいました。私の前に教頭先生が以前からずっとやっていたことを知り、ありがたいやら恥ずかしいやらでした。もう一つ。本校の玄関には、こんな写真が掲示してあります。すでに、中根前校長先生をはじめ、前からいる先生方はずっとこうした教育をいらっしゃったことを知り、改めて素晴らしい学校づくりをされてきていることを知りました。

